

ご ぼ う し ぼ う さ い す い し ん
御坊市防災まちづくりの推進
ぼ う さ い あ ん ぜ ん
(防災・安全)

第3回変更

和歌山県御坊市

令和元年12月2日

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	御坊市防災まちづくりの推進（防災・安全）										重点配分対象の該当			○												
計画の期間	平成29年度から平成31年度（3年間）					交付対象		御坊市																		
計画の目標																										
東日本大震災以降、南海トラフ巨大地震による被害の大きさが危惧されている中、本市でも、平成25年3月和歌山県公表の南海トラフ巨大地震による津波想定では、最大津波高16m、平均浸水深3.7m、津波到達時間は最短で13分とされている。浸水区域には、人口の約半分にあたる12,400人余が居住しているとともに、津波避難困難地域となっている市街地の河口部に位置する菌地区の一部（新町地区）及び名屋地区（35.5ha、1,209人）は甚大な被害が予測されている。また、平成26年3月に御坊市の全域において南海トラフ地震防災対策推進地域並びに南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されている。 このため、「被害を最小限に抑える体制づくり」と「災害に強い都市基盤の整備」を更に推進し、市民の生命と財産を守るとともに、喫緊の課題として、津波到達までに避難が困難な住民に対する避難先を確保し、避難困難地域の解消を図る。																										
計画の成果目標（定量的指標）																										
南海トラフ巨大地震が発生した場合の御坊市内（菌、名屋地区）津波避難困難者数0人																										
定量的指標の定義及び算定式																										
津波避難困難地域の面積（うち既設の避難タワーに避難が可能と想定される面積2.9ha） 津波避難困難者数避難困難地域（うち既設の避難タワーに避難が可能と想定される人数161人）										定量的指標の現況値及び目標値			備考													
										当初現況値		中間目標値				最終目標値										
										(H27当初)		(H29末)				(H31末)										
										32.6ha		32.6ha				0ha										
										1,048人		1,048人				0人										
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		631.4百万円		A		631.4百万円		B		-		C		百万円		D		百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.0%		
交付対象事業																										
A 基幹事業																										
番号		事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容			市町村名		事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考			
1-A-1		都市防災	一般	御坊市	直接	御坊市	都市防災総合推進事業(菌、名屋地区)			津波避難タワー			御坊市							631.4						
合計																		631.4								
B 関連社会資本整備事業																										
番号		事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容			市町村名		事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考			
合計																										
C 効果促進事業																										
番号		事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容			市町村名		事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考					
合計																										
番号		一体的に実施することにより期待される効果																								備考
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																										
番号		事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）			事業内容 （面積等）			市町村名		事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考					
合計																										
番号		一体的に実施することにより期待される効果																								備考

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)		131. 600	279. 200		
計画別流用 増△減額 (b)		10. 130	0. 000		
交付額 (c=a+b)		141. 730	279. 200		
前年度からの繰越額 (d)		0. 000	114. 782		
支払済額 (e)		26. 948	191. 746		
翌年度繰越額 (f)		114. 782	202. 073		
うち未契約繰越額 (g)		0. 000	0. 000		
不用額 (h = c+d-e-f)		0. 000	0. 163		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))		0. 0%	0. 0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えてい る場合その理由					

市街地整備

計画の名称	1 御坊市防災まちづくりの推進(防災・安全)		
計画の期間	平成29年度～平成31年度(3年間)	交付対象	御坊市

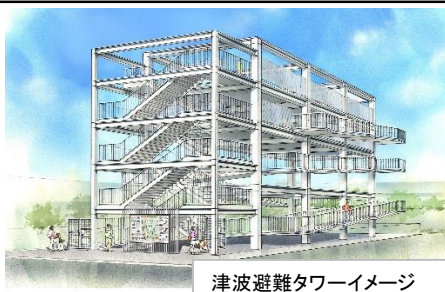
1-A-1 菌地区内
津波避難施設1棟整備
名称:新町地区津波避難タワー
避難ステージ面積:378.9㎡
床面高さ:8.7m

1-A-2 名屋地区内
津波避難施設1棟整備
名称:名屋地区津波避難タワー
避難ステージ面積:247.9㎡
床面高さ:10m

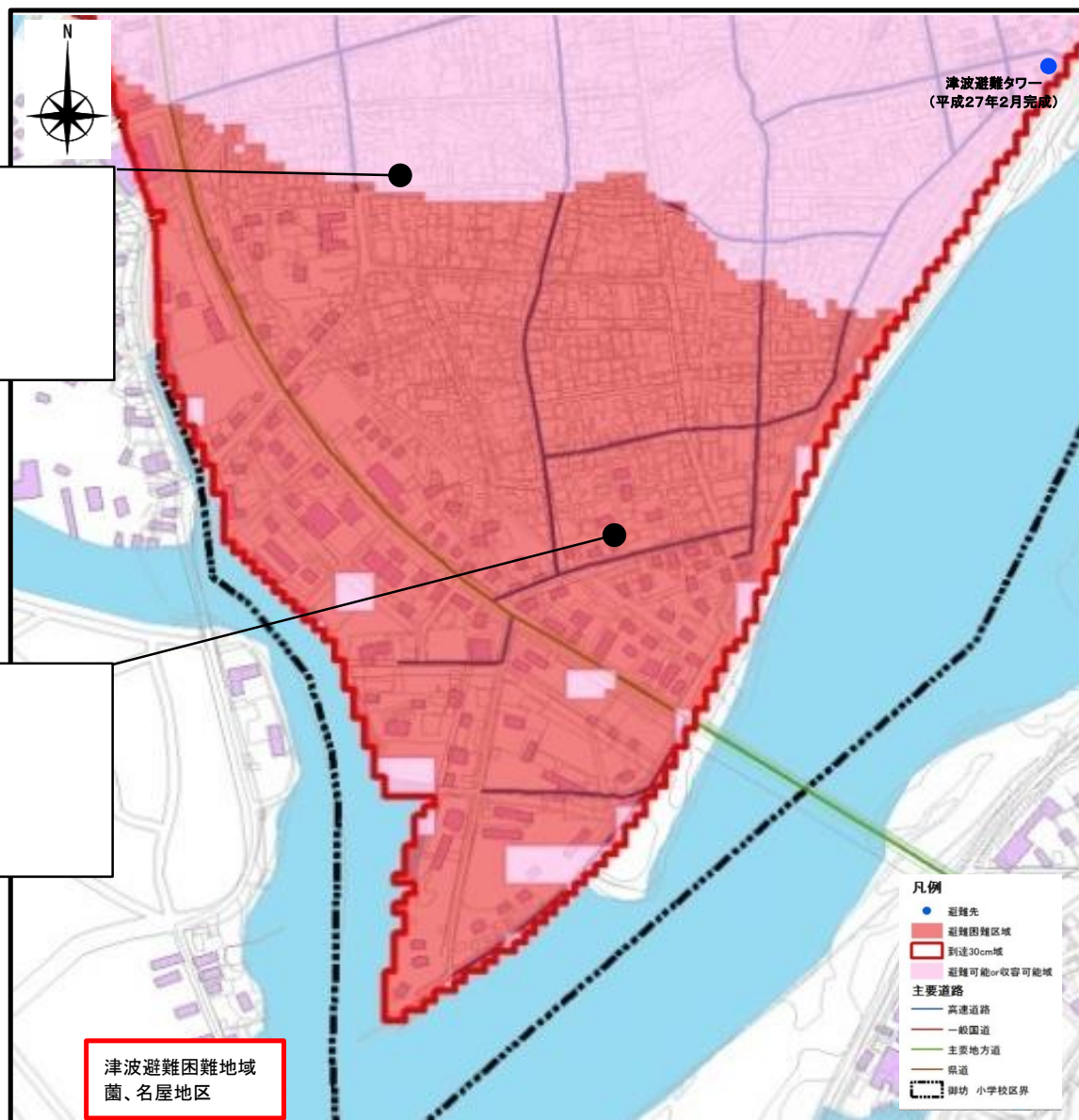
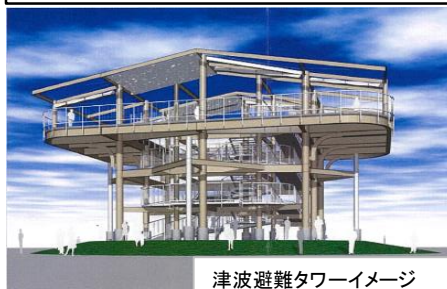
市街地整備

計画の名称	1 御坊市防災まちづくりの推進(防災・安全)		
計画の期間	平成29年度～平成31年度(3年間)	交付対象	御坊市

1-A-1 藺地区内
津波避難施設1棟整備
名称:新町地区津波避難タワー
避難ステージ面積:378.9㎡
床面高さ:8.7m



1-A-2 名屋地区内
津波避難施設1棟整備
名称:名屋地区津波避難タワー
避難ステージ面積:247.9㎡
床面高さ:10m



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 御坊市防災まちづくりの推進(防災・安全) 事業主体名： 御坊市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	✓
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	✓
2) 災害に強いまちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	✓
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	✓
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	✓
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	✓
4) 指標・数値目標が町民にとって分かりやすいものとなっている。	✓
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	✓
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	✓
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	✓
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) 災害に強いまちづくりに向けた機運がある。	✓
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	✓
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	✓
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	✓
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	✓